

単元名 Unit 5 Where is it from?

配当時間 8時間

- 単元の目標 (1) 身の回りの物とその生産国について考え、世界とのつながりを発表する語句や表現を身に付けるとともに、活字体の大文字・小文字を理解することができる。
- (2) 身の回りの物と生産国について考え、世界とのつながりを発表する目的、場面、状況などに応じて、学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして、発表することができる。
- (3) 他者に配慮しながら、主体的に身の回りの物と生産国について考え、世界とのつながりを発表するとともに、英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとする。

標準的な展開例

06160202_001

【準備等】デジタル教科書、大型テレビ、振り返りシート

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 Starting Out (1)</p> <p>○ウォームアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Chant "Where is this chicken from?" ・Small Talk "Where is New Zealand?" <p>★身の回りの物がどの国から来た物か、およその内容を聞き取ろう。</p> <p>○My Picture Dictionary Map of the World MPD(P.2～3)</p> <p>○Listen and Think (1) 英語を聞いて、場面の順に番号を書く。</p> <p>○Listen and Think (2) それぞれの場面で分かったことを書き、発表する。</p> <p>○Sounds and Letters Q, q(P.58)</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>2 Starting Out (2)</p> <p>○ウォームアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Chant "Where is this chicken from?" <p>★紹介したい身の回りの外国から来た物について、考えよう。</p> <p>○My Picture Dictionary 衣類 MPD(P.25)</p> <p>○Watch and Think (1) 映像を見て、質問に答える。</p> <p>○Watch and Think (2) 身の回りの外国から来た物について考えて書く。</p> <p>○Let's Read and Write This is my sweater.</p> <p>○Sounds and Letters E, e(P.58)</p> <p>○本時の学習を振り返る。</p> <p>3 Your Turn (1)</p> <p>○ウォームアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let's Chant "Where is this chicken from?" ・Small Talk "What vegetable do you like?" <p>★オリジナルのサンドイッチを考えて、食材や産地を尋ね合おう。</p> <p>○My Picture Dictionary 食材 MPD(P.15)</p> <p>○Let's Watch 映像を見て、どのような会話をしているかを確認する。</p> <p>○Let's Listen 1 音声を聞いて、食材や産地を書く。</p> <p>○Let's Try オリジナルのサンドイッチを考えて、尋ね合おう。</p> <p>A: Tell me about your sandwich?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業の雰囲気づくりをする。 ・最初は聞くだけとし、数回流す。 ・音声を聞かせ、内容について質問する。 ・MPD(P.2～3)を参照させ、主な国々を確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・音声を使って、いろいろな国々の単語を改めて確認させる。 ・絵を見てどのような内容か事前に予想させてもよい。 ・通して聞かせ、大まかな内容をつかませながらメモをさせる。 【評】身の回りの物がどの国から来たのか聞き取る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・もう一度聞かせ、それぞれの場面で分かったことを書かせ、発表させる。 ・繰り返し聞かせ、身の回りの物を紹介するのに必要な表現に気付かせる。 ・音声を聞いて問題に取り組ませる。 ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業の雰囲気づくりをする。 ・チャンツを流し一緒に言う。 <ul style="list-style-type: none"> ・音声を使って、衣類の単語を確認させる。 ・繰り返し聞かせ、身の回りの物がどこの国から来たのかを紹介するために必要な表現に気付かせる。 ・身の回りにある筆箱の中身や着ている服などを参考に考えさせてもよい。 【評】自分の身の回りの外国から来た物を考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・初めに例文の音声を聞かせ、声に出して読む練習を十分にしてから自分のことについて書かせる。 ・音声を聞いて問題に取り組ませる。 ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・英語の授業の雰囲気づくりをする。 ・チャンツを流し一緒に言う。 ・音声を聞かせ、内容について質問する。 ・MPD(P.14)を参照させ、主な野菜を確認させてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・音声を使って、食材の単語を確認させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・複数回聞かせ、分かるところから徐々に書かせてもよい。 ・Let's Listen 1を参考に考えさせる。 ・サンドイッチの食材については二次元コードを読み取り、参考にさせる。

B: My sandwich is a COT sandwich.
C is for chicken.

- Sounds and Letters Review⑤ (P. 58)
- 本時の学習を振り返る。

4 Your Turn (2)

- ウォームアップ
 - ・ Let's Chant "Where is this chicken from?"
- ★ グループで身の回りの物について生産国を調べよう。
- My Picture Dictionary Map of the World MPD (P. 2～3)
- Let's Listen 2 音声を聞いて4線に国名を書き写す。

- Let's Read and Write
 - (1) グループで調べたいジャンルを決め、メモをする。
 - (2) 決めたジャンルの物について生産国を調べて、英文づくりをする。
- My sweater is from New Zealand.
- New Zealand is in Oceania.
- Sounds and Letters 聞いてみよう⑤ (P. 58)
- 本時の学習を振り返る。

5 Enjoy Communication (1)

- ウォームアップ
 - ・ Let's Chant "Where is this chicken from?"
 - ・ Small Talk "Is your glue from Japan?"
- ★ 「世界とのつながりカード」を作って、グループで発表する内容を考えよう。
- Step 1 例文を音声で聞いた後、声に出して読む。
- Step 2 「世界とのつながりカード」を作る。
 - ・ グループで発表する内容を考える。

- Sounds and Letters Review⑥ (P. 59)
- 本時の学習を振り返る。

6 Enjoy Communication (2)

- ウォームアップ
 - ・ Let's Chant "Where is this chicken from?"
- ★ 「世界とのつながりカード」を使って、世界とのつながりをグループで発表しよう。
- Your Goal 「世界とのつながりカード」を使って、グループで発表する。

- Sounds and Letters 聞いてみよう⑥ (P. 59)
- 本時の学習を振り返る。

7 Over the Horizon (1)

- ウォームアップ
 - ・ Let's Chant "Where is this chicken from?"

- ・ モデル会話を参考に、全体で練習させてからペアで尋ね合わせる。
- ・ ペアとの会話で分かったことを、教科書にメモさせる。
- 【評】 オリジナルのサンドイッチについて尋ね合う活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・ 音声を聞いて問題に取り組ませる。
- ・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。
- ・ 英語の授業の雰囲気づくりをする。
- ・ チャンツを流し一緒に言う。
- ・ 音声を使って、国名などの単語を確認させる。
- ・ 複数回聞かせて、どこの国名か考えさせる。
- ・ MPD (P. 2～3) を参考に書かせるとよい。
- ・ 初めに例文の音声を聞かせ、声に出して読む練習をしてからグループで取り組ませる。
- ・ 生産国を調べる際はタブレット端末を使用させてもよい。
- ・ 音声を聞かせて気付いたことを発表させる。
- ・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。
- ・ 英語の授業の雰囲気づくりをする。
- ・ チャンツを流し一緒に言う。
- ・ 音声を聞かせ、内容について質問する。
- ・ MPD (P. 2～3) を参照させ、主な国名を確認させる。
- ・ 内容を確認してから、読むようにさせる。
- ・ 巻末コミュニケーションカードを切り取って使用させる。
- ・ 教科書に書いてある項目を手がかりに作らせる。
- ・ 表現例や単語例を参考にカードを作らせる。
- ・ グループで自分の作ったカードを見せ合い、どんな発表にするか考えさせる。
- 【評】 「世界とのつながりカード」を作り、グループで発表する内容を考える活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。
- ・ 音声を聞いて問題に取り組ませる。
- ・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。
- ・ 英語の授業の雰囲気づくりをする。
- ・ チャンツを流し一緒に言う。
- ・ 発表ができるようにグループで練習をして、最終確認をさせる。
- ・ 事前に発表で気を付けたいことを考えさせて教科書に書かせておく。
- ・ 発表が終わったら、活動の振り返りを記入させる。
- ・ 発表の中で言えた文を教科書に書かせる。
- 【評】 世界とのつながりについての発表を通して、「思考・判断・表現」を評価する。
- 【評】 世界とのつながりについての発表を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・ 音声を聞かせて気付いたことを発表させる。
- ・ 振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。
- ・ 英語の授業の雰囲気づくりをする。
- ・ チャンツを流し一緒に言う。

・Small Talk “Where is your water bottle from?”

★日本と世界との交流などについて考えよう。

- 文化探検 日本と世界との交流についての映像を見て、質問に答える。
(1) 答えが分かったら、MPD (P.30) 身の回りの物を参考に英語で書く。
(2) 映像を見て、思ったことを教科書に書く。

- フカボリ！ 日本と世界との関係について考える。
 - ・P.56～57 Let's go time traveling!の番号の音声を聞く。
 - ・日本と世界との関係について、P.57に考えを書く。
- Sounds and Letters Review⑦(P.59)
- 本時の学習を振り返る。

8 Over the Horizon (2)

- ウォームアップ
 - ・Let's Chant “Where is this chicken from?”
- ★日本と世界との交流などについて考えよう。
- 世界探検 映像を見てどんな会話をしているか考える。
(1) 映像を見て、分かったことを書く。
(2) ガーナについて、考えたことを書く。
- 物語探検 物語を聞いた後、文章を声に出して読む。
(1) 物語を聞いて、およその内容を理解する。
(2) 内容を理解した後で、教科書の文章を読む。
- Sounds and Letters 聞いてみよう⑦(P.59)
- 本時の学習を振り返る。

- ・音声を聞かせ、内容について質問する。
- ・MPD(P.2～3)を参照させ、主な国などを確認させる。

- ・二次元コードを読み取り、映像を見て質問に答えさせる。
- ・社会科で学んだ知識とも関連付けながら日本と世界との交流について考えさせる。
【評】日本と世界との関係について考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・社会科で学んだことを関連付けさせながら聞き取りを行い、どんなことを言っているか考えさせる。

- ・音声を聞いて問題に取り組ませる。
- ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

- ・英語の授業の雰囲気づくりをする。
- ・チャンツを流し一緒に言う。

- ・二次元コードを読み込ませ、映像を見て質問に答えさせる。
- ・繰り返し聞かせることで、少しずつ会話の内容を理解できるようにさせる。
- ・ガーナについて考えたことを発表させる。
【評】映像を見て、分かったことを書く活動を通して、「知識・技能」を評価する。
- ・全体を通して聞かせた後、ヒントを与えたり複数回聞かせたりして、徐々に理解できるようにさせる。
- ・音声を聞かせて気付いたことを発表させる。
- ・振り返りシートに学習して分かったことや自己評価を記入させる。

【 備 考 】

※7、8時間目のOver the Horizonを1時間完了とし、余剰時間を5、6時間目のEnjoy Communicationの活動の充実に当てたり、パフォーマンステストや単元のまとめテストを実施したりしてもよい。

※言語材料

- ・This is ….
- ・It's from ….
- ・国名 is in 地域.
- ・Where is it from?とその答え方